

令和 7 年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第 3 回 F D ・ S D 研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和 7 年 9 月 17 日（水） 15 時 10 分～16 時 20 分	
研修内容	大学の事業継続を考える-東日本大震災時の東北大学の事例から-	
講 師	常葉大学 環境防災研究科・社会環境学部 池田 浩敬 教授	
場 所	常葉大学静岡草薙キャンパス	A201 教室
	静岡瀬名キャンパス	大会議室
	静岡水落キャンパス	501 教室
	浜松キャンパス	601 教室
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	186 人
	静岡瀬名キャンパス	17 人
	静岡水落キャンパス	58 人
	浜松キャンパス	98 人
	法人本部	13 人
	合 計	372 人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和 7 年度第 3 回 F D ・ S D 研修会（全学共通研修会）を開催した。

昨年度に引き続き「防災」をテーマに「大学の事業継続を考える-東日本大震災時の東北大学の事例から-」を研修内容として、本学環境防災研究科・社会環境学部の池田浩敬教授による講演を実施した。

池田教授からは「災害に見舞われた際の事業継続（教育活動の再開）のポイントは初動対応にあり、そこを誤ると大変なことにある。そのためには、限られたリソース（時間と人員等）の中で災害対策本部長や災害対策支部長（各キャンパス）のリーダーシップと判断力が重要である。」と東日本大震災発生時の東北大学の迅速な対応事例を紹介しながら説明があった。また、「情報伝達手段が遮断された中では、個々で判断しなければならない場面もある」との説明があった。

今回の研修を通して、改めて「防災」意識を高める機会となった。今後も、組織としての「防災」対策と教職員個々の「防災」知識の向上および醸成を図るため、「防災」をテーマとした研修会を継続して実施する予定である。